

国立市都市計画マスタープラン施策検討委員会

第9回委員会議事録（要旨）

日時：平成13年10月31日（水）午前9：00～10：00

出席者（敬称略）

1）検討委員会 11名

事務局 都市計画課 3名

- | | |
|-------------------|----------|
| ・建設部長 長嶋敏雄 | ・主幹 田邊徹 |
| ・企画部政策推進室 大沼信 - | ・係長 小澤宏康 |
| ・総務部地域防災課 明田川大八 | ・主事 高木章充 |
| ・市民部産業振興課 平林正夫 | |
| ・福祉部福祉計画課 土屋信雄 | |
| ・環境部環境保全課 河野道有 | |
| ・環境部下水道課 篠吊四郎 | |
| ・教育委員会生涯学習課 山崎順 - | |
| ・建設部都市計画課 野村文雄 | |
| ・建設部まちづくり推進課 石野餅策 | |
| ・建設部建設課 尾藤文泰 | |
| ：委員長 | ：副委員長 |

凡例（・：委員の意見、質問 *：事務局の説明、回答）

<挨拶> ・建設部長

<議題>

1．配布資料（ から ）について

*事務局から資料の説明。

*第7回議事録については、修正箇所を説明した後、確認された。

*第8回議事録については、特に指摘事項がなく、確認された。

2．項目立てについて

*前回との修正点を説明する。

・最初に項目ありきではないから、内容の方が優先されると思う。

*当面この項目立てで進めたい。後に変更があれば報告したい。

3．都市マスの位置付けについて

・項目立てでは“(2) 基本的考え方の役割”となっているのだが、位置付け案の項目では役割の部分が削除されている。

* ”役割” を表現した方がよければ手を加えるが、内容をまとめ始めると項目も調整することもある。

- ・都市マスでは将来人口を8万人に設定しているが、整開保は6万8千人である。今後整開保を8万人に見直すことなのか。
- * 都の推計では各市が何万人となるのかが、まだ設定されていない。H13年度に都の考え方がまとまる予定である。
- ・都は10年先の人口を設定しており、全体の枠を持っている。どこかが増えればどこかを減らすことになる。他区市町村に影響する。市が都に言っていないと8万人にはならない。企画では基本構想で8万人を想定しているが、これを見直すようなことがあれば、全てに影響を及ぼすほどこの問題は大きい。
- * 20年先は人口減になる。しかしその理論付けは難しい。
- ・区画整理事業をしたところや生産緑地のところは、将来人口を想定しているのか。20年先生産緑地になっているのか。
- ・区画整理事業を計画する段階では人口を準工などでは80人/haを想定しているが、将来人口の細かい設定はしていない。
- ・都市計画の中で生産緑地を決定している。将来人口の係数を想定したらいいと思う。
- * 現状のギャップを補正するのは予測が難しい。憶測を言うのは控えたい。将来人口に関しては企画と相談して資料を提供したい。基本計画と整合性をとるのが第 - である。

4. その他

- ・前回の建設・環境委員協議会のこと重要であると思われるが。
- * 3月議会、6月議会で策定委員会の条例案が否決され、方針変更して検討委員会で素案作成することになった。素案は庁内検討委員会、原案は附属機関で行うことになった。10月の協議会では、次の要請が出された。
 - 附属機関の構成を示すこと。議会の意見を聞いてほしい。
 - 原則10名だが、枠を15名にする考えである。
 - 素案の作成過程で議員の意見を聞く場を入れること。
 - 素案ができる中間で場を設けたい。
 - 公式の場を設けること。 できない。
- しかし、宿題に対する返事が、相手との日程調整できていないまま協議会を向えた。昨日、企画と調整して附属機関については3月に条例化を予定しているが、否決されたら大変なことになるので、これらの調整を行うことで進めている。
- ・委員会にコンサルを入れるかどうかの話があったと思うが。
- * 現在委託の準備を進めている。

- ・協議会で庁内報告書というりっぱなものがあるのに、検討委員会で半年間も何をやるんだという声が出た。本委員会の存続を問われていたと思うが。
- * 庁内報告書には図面がなく、そのままの状態では出せない。
- ・基本的には市民から提案されたものが大切だと思う。

国立市都市計画マスタープラン施策検討委員会

第10回委員会議事録（要旨）

日時：平成13年11月14日（水）午前9：00～10：00

出席者（敬称略）

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1) 検討委員会 11名 | 事務局 都市計画課 3名 |
| ・建設部長 長嶋敏雄 | ・主幹 田邊徹 |
| ・企画部政策推進室 大沼信 - | ・係長 小澤宏康 |
| ・総務部地域防災課 明田川大八 | ・主事 高木章充 |
| ・市民部産業振興課 平林正夫 | |
| ・福祉部福祉計画課 土屋信雄 | |
| ・環境部環境保全課 河野道有 | |
| ・環境部下水道課 篠吊四郎 | |
| ・教育委員会生涯学習課 山崎順 - | |
| ・建設部都市計画課 野村文雄 | |
| ・建設部まちづくり推進課 石野餅策 | |
| ・建設部建設課 尾藤文泰 | |
| ：委員長 | ：副委員長 |

凡例（・：委員の意見、質問 *：事務局の説明、回答）

<挨拶> ・建設部長

<議事録の確認>

* 第9回議事録については、確認された。

<議題>

1. 都市マスの位置付け（具体的）について

- * 西暦、数字などの整理はこれから行う。
- * 人口推計については、企画部と調整したい。
- * 文章も市民にわかりやすい、やさしい表現に変える。

2. 将来都市像について

- ・前回の項目立てで、まちづくりの方針は7つの項目が列挙されていたが、将来都市像の

まちづくりの方針の項目と比べるといくつか内容が変わっているが、統一した方がよいのではないか。

* 項目については、その中身の文章表現をした後、見直し変更も考えられる。今回は項目を次のように変更した。

(2) 都市環境の整備方針 水と緑の整備方針

(3) 生活関連施設の整備方針 住環境の整備方針

(5) 道路・交通体系等都市施設の整備方針 交通体系の整備方針

全体的にやわらかい表現にしてみたが、今後中身が明らかになった段階で、再度提示したい。

・ 公園については水と緑、道路については交通体系、基盤整備については住環境というような区分けになるのか。(1)の土地利用の方針には(3)の住環境の保全などが含まれていると思われるが、全体的に整理が必要ではないか。

・ (2)の水と緑より(3)の住環境の方が項目の順序は先と思う。

・ 市街地開発整備方針はどこに入るか。従前は(2)の都市環境が合っていたが、今回の(2)の水と緑には入れにくい。

* 今後、文章化する中で整理したい。

・ 産業環境のところで、商業・工業の活性化とあるが、年間予算が少額のなかで、はたしてこのような柱を打ち立てられるのだろうか。

・ 特に工業の活性化を推進の表現だと、予算規模もないが、展開できるか考える必要有。

* この産業という言葉は、国立市基本構想や市民提案書によるところであり、まちづくり市民会議が提案書を作成する過程の中で、中心市街地活性化ということでは商業が国立駅前の特長になっており、またインター周辺のまちづくりの方向性等を考慮し、産業という項目を入れて変更した経緯がある。

・ 工業の活性化というのは現実的ではない。

・ 商業の活性化は都市マスでは重要な位置付けになるのではないか。

・ 産業については、これから展開できるのかと心配している。

* 大学通り商店会との話し合いはしており、今後も商店会等との話し合いは進めていく予定である。また、全体のバランスをみて柱立てを調整したい。

・ 農業はどこに関連させるのか。

* (2)の水と緑の項目と考えている。

・ 農業については、(2)の水と緑の中だけではくれない。農地の保全という部分も重要だが、今後はフルーツ農園等の土地利用を図る計画もあり、また生産性についてもふれなければならない。つまり、(1)の土地利用や(4)の産業環境にも影響すると思

う。

- ・農業のベースは生産であると思う。
- ・項目立てと実態が違う。例えば地域別で考えると、いろんな地域の色取りがでてくる。
- * (1) 土地利用の項目には、用途地域の方針を考えており、農業については、水と緑や産業に係わりがある。

- ・地域のまちづくりで4つの地域に区分けした根拠は何か。
- * 基本構想と庁内報告書(H12.5作成)である。ただし、一部名称を変えている。
(国立地域 東・中・西地域)

- ・都市マスは、南部地域のことが最も重要であり、地域は大枠でハケ上、ハケ下に分けてもいいと思う。
- ・南部は、地域によって将来展望がそれぞれ違う。
- ・ハケという表現がいいのか。
- * 市民提案書では、南部地域をハケの上下ではなく住居系と業務系の区分にしている。

- ・南部については、市民提案書の中では地形、交通、歴史を一緒に考えている。確かに農家中心であり、祭りや行事が盛んであるが、それぞれ地区ごとに特色を持っている。
- ・南北軸をどうするかも課題である。

- ・都市基盤整備が終わっている東・中・西地域と富士見台地域は合わせてもよいのではないか。
- ・北地域についても中央線連続立体交差化ができれば、東・中・西地域と密接な関連がでてくる。
- ・防災面でも中央線連続立体交差化で南北が抜けると抜けないので全然考え方が違う。現状を踏まえるのか、それとも完成後を想定するのかが課題である。

- ・基本構想では文教都市とうたっているが、地域のまちづくりの中で文教地区との兼ね合いを整理しておいた方がよい。
- * 国立市全体は文教都市、その中で都条例に基づく文教地区の網がかかっている地区があるという考え方でいいと思う。

- ・都市基盤のあり方を整理しないと他の関連事項との整理が難しい。

- * 本日の意見を整理して、次回までに資料を用意したい。

3. その他

- * 本日開催予定表のとおり、午後 2 時から幹事会を開催し、委員会の経緯を報告し、素案について意見を伺う予定である。
- * 11 / 13 の会派代表者会議で、1 月末に「行財政健全化プラン」、「都市マス」について全員協議会が開催される予定である。
- * 旧まちづくり市民会議から、わくわく塾の申請があり、11 / 21 公民館で行う予定である。
- * 次回の第 11 回検討委員会は、11 月 28 日（水）午前 9 時～の予定である。